

## 迅速な情報共有で児童虐待対策を強化

# 保育園等との連携に「kintone」<sup>キントーン</sup>を活用します

区は、保育園や幼稚園、小・中学校等へ通う児童の出欠状況などを、関係機関と迅速に情報共有するため、サイボウズ株式会社が提供するクラウドサービス「kintone（キントーン）」を、23区の自治体で初めて導入しました。

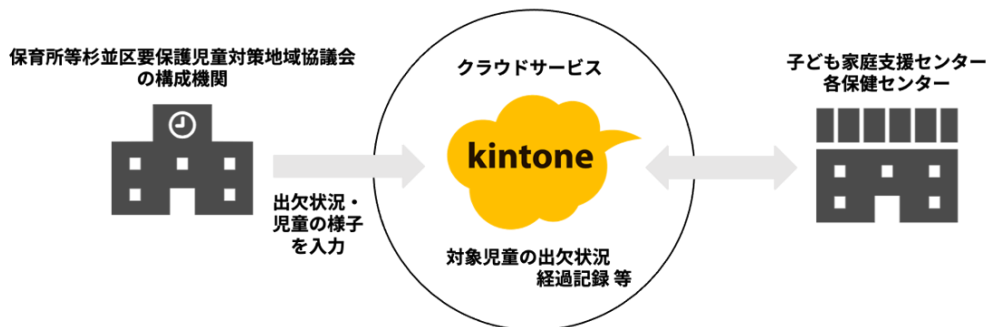
令和元年度における全国の児童相談所での虐待相談件数は19万件を超えて過去最多となり、区の子ども家庭支援センターに寄せられる相談・通告件数も近年大幅に増加しています。加えて、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、子どもの見守り機会の減少や、外出自粛によるストレスの蓄積など、児童虐待のリスクを高める要因が生じています。こうした状況において、児童虐待を未然に防ぐためには、子どもやその家庭が発するサインに対し、多くの関係機関による気付きとその共有が非常に重要となります。

区では、児童虐待対策の一つとして、保育園や学校等へ通う児童の出欠状況を定期的に確認し、対象施設や児童相談所などの関係機関と連携しながら必要に応じて家庭訪問等の見守りを実施していますが、こうした出欠状況等は各施設からメールで一斉に届けられるため、正確な情報把握や集計作業に多くの時間を要していました。

この課題を解決するため、この度、サイボウズ株式会社と協定を締結し、同社が提供するクラウドサービス「kintone（キントーン）」を、23区の自治体において初めて導入することとしました。このシステム上に各施設が欠席日数や児童の様子、家族からの連絡の有無などを入力することで、関係機関は迅速にこれらの情報を共有することができます。令和3年5月から区立保育園で運用を開始したところですが、今後、私立保育園や幼稚園、小・中学校等にも運用を拡大する予定です。

サイボウズ株式会社の青野慶久社長は「kintoneの利用を通して、杉並区はじめ日本全体から虐待される子どもがいなくなる未来への一歩につながることを願っています。」とコメントしました。

### クラウドサービスを活用した「(仮称) 子ども見守り情報共有ツール」



#### 【問い合わせ先】

杉並子ども家庭支援センター：03-5929-1902（直通）

総務部広報課：03-3312-2111